

## 第9回「観光地の魅力について」

米国の戦後最大の観光プロデューサーと言われたアラン・フォーバス氏は、観光地の魅力ポイントについて、①ヒストリー（歴史）、②フィクション（物語性）、③リズム&テイスト（律動・躍動感・音楽・おいしい料理）、④ガール&ギャンブル（きれいな女性がいてスリルがある）、⑤サイトシーイング（景色・気候が良い）、⑥ショッピング（品揃えが良く値段が安い）をあげています。フォーバス氏は、6つの魅力のうち3つを創れ、6つ全てやったら個性が無くなると言いました。私は、①、②、③に「体験できる工夫」を加えたいと思います。ここ数年、観光客数・宿泊数・宿泊施設・飲食店が大きく減少しています。そこで、観光地としての受け皿である宿泊施設・飲食店を増やしていきたいと考え、今年度から補助金制度を立ち上げました。少しずつ相談件数が増えています。もう、景観だけの観光、夏だけの観光では、観光地ではないのです。松崎町の財産である「なまこ壁」は全国に存在していますが、小さな我が町のように、これほど見事に集積している町は他に見当たらないでしょう。そして、この「なまこ壁」に似合う対象は、着物や浴衣を着た女性であろうと、私はかなり前から思い続けていました。そこで、9月23日の長八まつりに合わせ、「なまこ壁」「神社仏閣」を歩いて巡るイベント「長八さんを路地で感じよう」を新たに開催します。皆様、どうぞこぞって参加してください。